

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和6年8月30日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 52
校長 田中 成年

＜子供ど真ん中教育＞

～笑顔が絶えない学校に～

夏休みも残すところ2日となりました。9月2日には「おはようございます」という子供たちの元気な声が学校に戻ってまいります。楽しみです。

前回の学校だよりで、「畝刈小学校は、子供ど真ん中教育を推進しています」とお伝えいたしました。言葉のとおり「子供を教育のど真ん中に据えた教育」のことになります。

具体的には、

- 「**子供が安心して教育を受けることができる**」
- 「**子供が安心して通うことができる**」
- 「**子供を主語にした、中心に置いた教育を行う**」
- 「**子供が主体的に学習する環境を整える**」等

「学校・家庭・地域」の役割としては、大きく次のことが考えられます。

- 学校**・・・学習の保障 「授業改善」「心の教育」
- 家庭**・・・基本的生活習慣の協力 「早寝・早起き・朝ごはん、歯みがき」
- 地域**・・・安全見守りの協力 「登下校や地域での見守りや声かけ」

その他多くのことが考えられます。

大人が力を合わせることで、子供たちが安心して安全に学校に通うことができるようになり、「**笑顔が絶えない**」生活を送ることができるようになります。

子供が主役で子供たちの笑顔が絶えない畝刈小学校にしていくためにも、今後も家庭や地域の方々のご理解とご協力が必要となります。

さらには、子供たち自身が自らのことを振り返りながら「**全てを自分事として捉え自ら考え判断し行動していく力**」を自らの力で付けていく必要があります。

具体的には、

- 「**学習は自分の将来の夢を広げるために行う**」
- 「**人とのかわり合いは、自分の考えを広げ判断することに役立つ**」
- 「**人とのかわり合いは、相手を思いやる気持ち、助け合いや認め合う行動等、様々な心の成長につながる**」

ということを子供たち自身が意識し、身に付けることができるようにしたいと思います。

子供も大人もともに考え、ともに行動する畝刈小学校。

ともに力を合わせ、誰もがうらやむ「**子供ど真ん中の笑顔が絶えない畝刈小学校**」にしていきたいと思います。